

「日南町の子どもたちの教育在り方検討会 答申」にみる社会教育(その3)

今月は、「持続可能な『ふるさと』日南を創ること」のための方策の
目玉となる「日南学」Part1について紹介します。

「日南学」は、0歳児から高齢者までの全町民を対象にした学問です。地
域のよさを探し、地域おこしにつなげる学習活動です。

乳幼児(保育園)は、自然の中で遊ぶことにより、草花や樹木、石や土と
いった自然を相手にした体験活動を中心に実施します。小学校低学年では
「生活科」を、小学校中学年から中学3年生までは、「総合的な学習の時
間」を、高校では「総合的な探究の時間」を中心にして学習していきます。

また、乳幼児から高校生までは、保育園や学校だけでなく、社会教育でも
いろいろ人と接し、新鮮な「もの・こと・人」と出会うことにより、じげ
のよさに気付くことになるのです。人づくり・まちづくりの基礎を学習して
いきます。なお、協働的な活動とするために自分の考えをもち、話す力も育
成します。

また、社会人はちなん町民大学・生涯学習講座・人生学園、各まち(む
ら)づくり協議での生涯学習講座やまちづくりなどの生涯学習を中心にして
実施します。日南町という地域のいろ
いろなことを学んだり、調べたりする
ことで、人との接点が生まれ、新しい
よさや課題を見つける活動となるので
す。

こうした「日南学」は、日南町にお
ける地域資源の活用と地域課題を解決
することのできる人材を育成するため
の学問です。まちづくりの基盤づくり
の1つです。

今回は、具体的な「日南学」
Part2を掲載します。



にちなん町民大学
「日南の魅力の世界に発信しよう」

地域コーディネーターだより

昨年から学校行事が、中止や延期になり、児童・生徒たちは残念な気持ちで、学校生活を送っていることと思います。そういった中、小学校では全校遠足(日野上方面)を5月に実施しました。友だちと協力しながら、クイズを解いたり、力を合わせて丸太切り競争をしたりしました。友だち同士、楽しくコミュニケーションがとれていたようで、やっぱり子どもたちには、様々な体験が必要だなと感じました。

可能な限り学校外でも様々な体験活動をしてほしいとの思いから、いろいろな方々に声をかけさせていただいています。特に木育などは、自然を相手にたくさんの体験ができます。時には「火」を使うかもしれませんが、危ないからダメではなく、

その大切さや扱い方を指導していただく事によって、子どもたちは生きる知恵を経験から学んでいきます。今まで出来なかった事を経験すれば、素晴らしい財産が得られるのです。

5月27日には、小学1年生が生活科の授業で、楽しんで私にクイズを出してくれました。次回、その様子をこのコーナーでお知らせしたいと思います。

丸太って切るのは大変だなあ。



クイズ 森林編

日南町は林業の町とも言われ、多くの方が林業関係の仕事をしています。さて日南町面積のうち森林が占める面積は約何パーセントでしょうか。

- ①48% ②68% ③88%



※前号の答え ③北海道

連絡先 教育委員会 82-1118 コーディネーター荒金 敏文 携帯 080-5232-7712

